

ソレキア株式会社 様

## IT 資産の調達／廃棄の申請や社内稟議などの手続きを効率化し 年間約 6000 時間の工数を削減

### 導入商品

ICT 資産管理ソフトウェア「FUJITSU Software Systemwalker Desktop Patrol」

システムウォーカー デスクトップ パトロール

### 課題

- ソフトウェアライセンス監査の対応に膨大な工数を費やしていた
- 部門ごとに PC やソフトウェアの調達／廃棄を行っており無駄なコストが発生
- 各部門が管理する IT 資産台帳と経理部が管理する固定資産台帳の内容が不一致

### 効果

- Excel を用いた IT 資産管理から脱却して現場のメンテナンス負担を軽減
- IT 資産購入やライフサイクルを一元管理し、コストを全社最適化
- 帳票出力を行う機能をアドオンで開発し、IT 資産と固定資産の一元管理を実現

ICT サービスインテグレーターのソレキアは、ある外資系ソフトウェアベンダーからライセンス監査を求められ、対応に半年以上の期間を費やした。これを機に IT 資産管理ツールとして「FUJITSU Software Systemwalker Desktop Patrol」を導入するとともに、全社的な PC ライフサイクル管理を担う新組織として IT 資産管理部を設立。Excel の資産管理表のメンテナンスを不要としたことや全社一括手続きなどによって年間約 6000 時間の工数が削減されるなど、画期的な成果をもたらした。

### 導入の背景

#### 突然求められたライセンス監査 対応に半年以上の期間を費やした

顧客の課題に合った ICT サービスを提供するソレキアは、テクノロジー・プロダクツ、ICT ソリューション、サービス・インテグレーション、インフラサービスといった事業を展開する中、社内では約 1500 台の PC を活用している。そして現場の機動力を活かす狙いもあり、これらの PC の調達／廃棄の実施、ソフトウェアのライセンス管理を各部門に任せていた。

もちろん、完全に野放しだったわけではない。同社の執行役員でありリスクマネジメント部長とコーポレートシステム部長を兼務する塩谷 明彦氏は、「Excel で IT 資産管理表を作成し、部門ごとにその都度メンテナンスを行うルールを取り決めていました」と語る。実際にこの管理体制で問題が起こったこともなかった。

そうした中で 2012 年のある日、思わぬ出来事が起こった。ある外資

系ソフトウェアベンダーからライセンス監査を求められたのである。ライセンス監査とは、ソフトウェアベンダーが自社製品を利用している企業や団体に対して、そのライセンスが使用許諾条件に準じて適切に利用されているかどうかを確認するための外部調査のことで、要求があれば契約上必ず対応する必要がある。

とはいえ、同社にとって初めての経験であり、なおかつ突然のライセンス監査の要求にスムーズに対応できるものではない。各部門から上がってきた IT 資産管理表に基づいた報告と、経理部門が管理している固定資産台帳の内容を突合しても一致しなかった。同社 コーポレートシステム部 IT 資産管理部長付の西尾 幸樹氏は、「結局のところ IT 資産管理表のメンテナンスがまったく追いついていなかったのです。最大の問題となったのは正式な廃棄の手続きがなされないまま、『もしものときの代替機』などとして個人ロッカーで塩漬けされた古い PC です。これらをすべて引っ張り出して中身を手作業で洗い出すことになり、調査を終えるまでに半年以上の期間を費やしました」と振り返る。



ソレキア株式会社  
執行役員  
リスクマネジメント部長  
兼 コーポレートシステム部長  
塩谷 明彦 氏



ソレキア株式会社  
コーポレートシステム部  
IT 資産管理部長付  
西尾 幸樹 氏



ソレキア株式会社  
コーポレートシステム部  
IT 資産管理部 リーダー  
梅北 朋起 氏

### お客様プロフィール

#### ソレキア株式会社

本社所在地 東京都大田区西蒲田 8-16-6  
設立 1958 年  
代表取締役社長 小林 義和  
従業員数(連結) 851 人 (2019 年 9 月末)  
ホームページ <https://www.solekia.com/>

**solekia**  
Thinking Together

#### 事業概要

IT に関する幅広いノウハウを活かし、企画立案からシステム設計、アプリケーション開発、ハードウェアの選定や調達、運用・保守に至るまで、総合的なコンサルティングを行っている。

## 導入のポイント

### インベントリ情報を自動的に収集する IT 資産管理ツールを選定

幸いなことにライセンス違反のような致命的な問題は起こしておらず、事なきを得たのだが、「IT 資産管理の重要性をあらためて痛感しました」と塩谷氏は語る。

そこで同社が検討を開始したのが、IT 資産管理ツールの導入である。さまざまな機能や特徴を持った製品が市場に流通している中で特に注目したのは、すべての PC にエージェントをインストールし、インベントリ情報（ハードウェアやソフトウェアの資産情報）を自動的に収集するタイプの IT 資産管理ツールだ。

同社 コーポレートシステム部 IT 資産管理部 リーダーの梅北 朋起氏は、「今まで Excel による手入力での台帳管理をしてきたので、PC からネットワーク機器まで棚卸し作業を自動化できる IT 資産管理ツールに大きなメリットを感じました」と語る。

こうした経緯から IT 資産管理ツールの有力候補として浮上り、同社が最終的に導入を決定したのが、「FUJITSU Software Systemwalker Desktop Patrol」（以下、Systemwalker Desktop Patrol）である。

「いくつかのインベントリ収集タイプの IT 資産管理ツールを比べる中で、Systemwalker Desktop Patrol にプラスαの魅力を感じたのは、セキュリティポリシーの自動診断機能です。利用を禁止しているソフトウェアを勝手にインストールしていないか、ウイルスパターンファイルが古くないか、などを診断し PC に警告画面として表示するもので、社員のセキュリティ意識を高めることにも役立つと考えました」と塩谷氏は、選定の決め手となったポイントを挙げる。

## システム概要

### 新設された IT 資産管理部が 全社的な PC ライフサイクル管理を担う

そして 2016 年、同社はコーポレートシステム部の配下に新たに IT 資産管理部を設置。これに伴い Systemwalker Desktop Patrol を本格的に活用し、全社的な IT 資産管理を集約的に進める体制がスタートした。

「Systemwalker Desktop Patrol により収集するインベントリ情報と社内ネットワークに接続した機器の情報を統合し、IT 資産と社員とを紐づけた IT 資産管理台帳を作成しました。これをベースに全社の PC の選定・調達から導入、運用（ライセンス管理）、廃棄にいたるまで、IT 資産管理部が PC のライフサイクル管理全般を一元的に担っています」と西尾氏は説明する。

さらに同社は、現場部門向けの画面表示や帳票出力を行う機能をアドオンモジュールとして開発した。「IT 資産情報の明細帳票に各 PC やソフトウェアの取得価格や取得日、簿価などの情報を提供するもので、これにより現場部門は、Systemwalker Desktop Patrol で収集されたインベントリ情報だけでなく、減価償却の償却年数や残存簿価といった情報も照会することができます」と梅北氏は訴求する。

## 導入効果と今後の展開

### 独自機能と運用ノウハウを組み合わせた 「@PCwatcher」で外販ビジネスを展開

Systemwalker Desktop Patrol の活用と IT 資産管理部による運用体制が軌道に乗った現在、同社の IT 資産管理における現場負担は大幅に削減された。

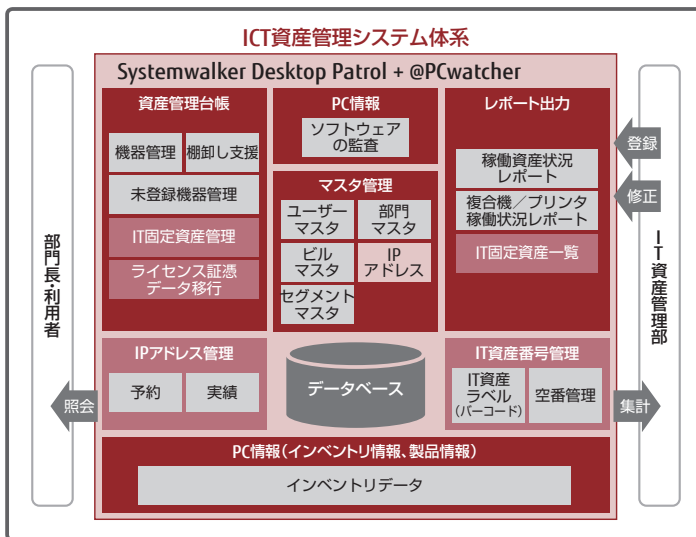
具体的にどのような効果があらわれたのか、西尾氏は次のように説明する。

「まず Excel による部門ごとの IT 資産管理表のメンテナンスが不要となったことで、全社で 3616 時間（8 時間×4 回/年×113 部門）の工数削減が達成されました。また、全社一括手続きによる費用削減の観点からも、IT 資産の調達／廃棄の申請や社内稟議などの手続きが効率化され、2260 時間（20 時間/年×113 部門）の工数削減がもたらされています。全社一括購入によるボリュームディスカウントや最適ライセンスの選択により“無駄遣い”がなくなったことで、ソフトウェアの調達コストが 23%削減されています」

なお、遊休ライセンスや余剰 PC に残ったままになっている不要ライセンスを無駄なく再利用していくという IT 資産の有効活用に対する意識の向上、セキュリティ違反やライセンス違反を起こさないというポリシー順守の意識の向上など、社員のマインドセットを大きく変えてきたことも、同社は Systemwalker Desktop Patrol を導入したことで得られた大きな成果の 1 つとして挙げている。

こうした社内活用の実績を踏まえて同社は、先述のアドオンモジュールをはじめとする独自機能と運用ノウハウを組み合わせたソリューションとして「@PCwatcher」を商品化。「IT 資産管理に関して、私たちと同じような悩みを抱えている企業は他の富士通パートナーも含めて数多くいるはず。その問題を解決するためのノウハウやソリューションを私たちは持っています。ぜひ皆さんの手助けができればと考えています」と梅北氏は語り、積極的な外販ビジネスを展開していく考えだ。

【システム概要図】



## お問い合わせ先

### 富士通コンタクトライン（総合窓口） 0120-933-200

受付時間 9:00 ~ 17:30（土・日・当社指定の休業日を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

[www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/products/desktop-patrol/](http://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/products/desktop-patrol/)

●記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。  
●このカタログには、環境に配慮した用紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。